

取扱説明書

1.0.1

簡易風速検査装置

MODEL WT102

アリアテクニカ株式会社

目次

はじめに.....	3
安全上のご注意.....	3
1. 各部の名称.....	6
2. ご使用前の準備.....	8
2-1. 電源ケーブルの取り付け.....	8
2-2. 保管用カバーの取り外し.....	8
2-3. 調整ボリュームの設定.....	8
2-4. プロブ固定金具の取り付け.....	8
3. 装置の使い方.....	9
3-1. 電源を入れる.....	9
3-2. プロブを取り付ける.....	9
3-3. マニュアルモード.....	9
3-4. 風速固定モード.....	9
4. 製品仕様.....	10
5. 保証とアフターサービス.....	11

はじめに

このたびは、本製品をお選びいただきまことにありがとうございます。



本製品をご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。




安全上のご注意 ～最初に必ずお読みください～

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分して説明しています。


表示	表示の意味
 警告	「死亡や重傷など人身事故の発生する危険が想定される内容」を示しています。
 注意	「軽傷を負うことや、物的損傷を与えるか、性能保証できないおそれがある内容」を示しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

図記号	図記号の意味
 注意	取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示しています。記号の中の図は注意事項を意味します。
 禁止	禁止の行為を意味します。記号の中の図は禁止事項を意味します。
 遵守	必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示事項を意味します。

警告

 使用禁止	● 可燃性のガスのある場所で使用しない 送風ファンが回転し熱を持っていますので、発火・爆発の危険性があります。
 正しく使用	● 分解や修理・改造を行わない 思わぬ事故の原因になります。

 接触禁止	● 送風ファンにさわらない 回転中のファンに触れると、けがをしたり機器が破損する危険があります。
---	---


警告
■電源ケーブル


禁止

●必ず指定のケーブルを使用する
他の製品を利用すると火災・感電・故障の原因となります。



正しく使用

●AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しない

火災・感電の原因となります。
複数の電気製品を同時にご使用の際は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

●電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり引っ張ったりしない
また、重いものをのせたり加熱したりしない

●使用しないときは電源ケーブルを抜く
火災・感電の原因となります。



正しく使用



万一、本器より通常とは異なる音や臭い、煙などが発生した場合や、本器内に異物が混入した場合は、感電や発火、本器の故障のおそれがありますので、速やかに電源を切って、電源ケーブルを抜いてください。


注意


禁止

●ほこりや異物が多量に含まれる環境下で使用しない

清浄な空気流でのご利用を想定しており、送風ファンや設置したプローブに異物が接触することで計測精度の低下や破損の原因となります。



禁止

●水分の多い場所で使用しない
設置した風速センサーに水滴が触れると熱の放散量が変化するため、正しく計測できません。
また、損傷や感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

●無理な力や衝撃を加えない
落下させたり、ぶつかけたりして変形してしまふと、計測精度の低下や破損の原因となります。



禁止

●高温多湿の場所、直射日光のもとで使用しない
変色・変形など劣化の原因となり、使用温度範囲外では正常に動作しない場合があります。



禁止

●ケーブルに無理な力を加えない
ケーブルを引っ掛けたり、無理に引っ張ったりすると、計測精度の低下や破損の原因となります。



禁止

●静電気を帯びた状態で操作しない
計測値に悪影響をおよぼすおそれがあり、破損の原因にもなります。

■こんなときは



正しく使用

本体のお手入れの際はシンナーなどの揮発性の液体は避け、乾いた柔らかい布をお使いください。
汚れがひどい場合には、少量の中性洗剤を含ませた布で乾拭きしてください。

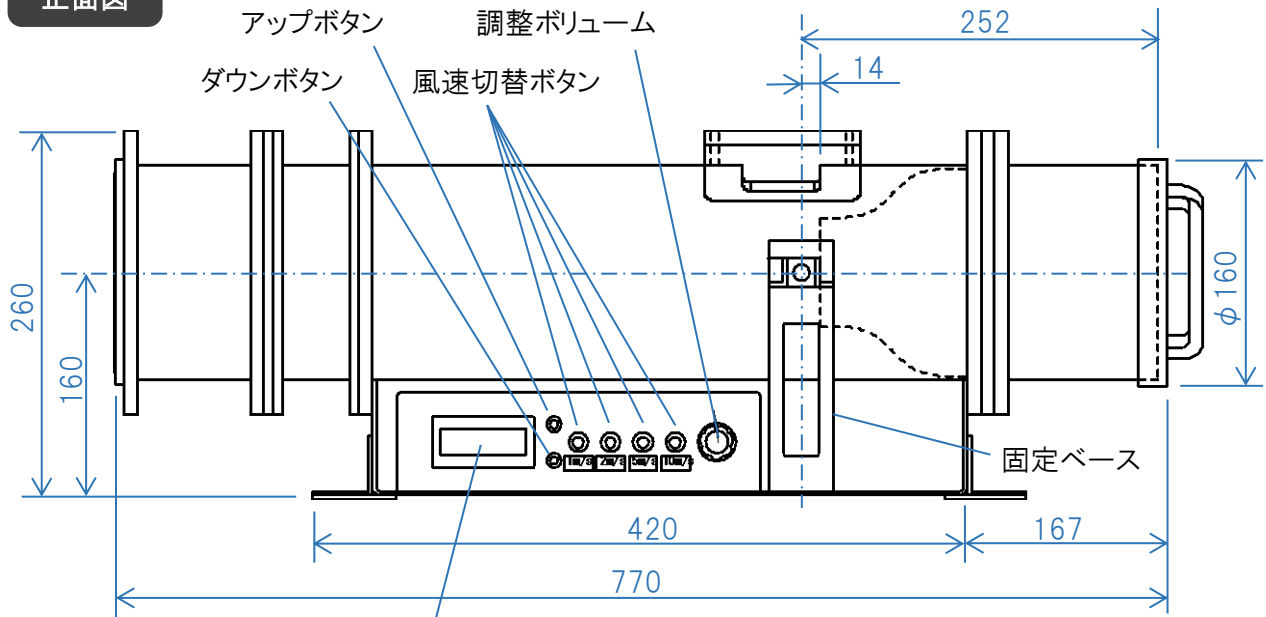


正しく使用

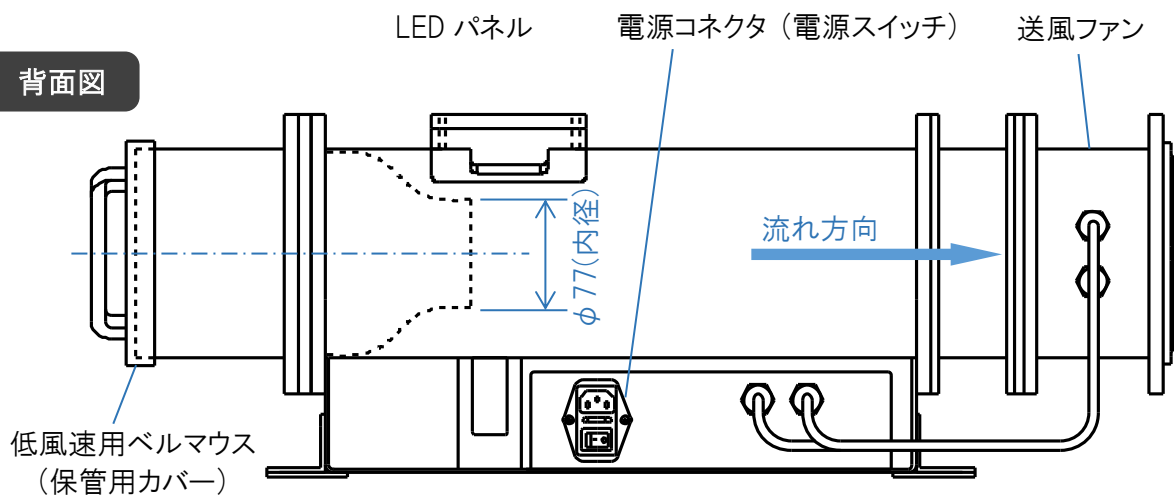
送風ファンや低風速用ベルマウスの金網に汚れがないか定期的に確認してください。
ほこりや異物が付着すると誤差の原因となり、正しく計測できない場合があります。
汚れを取り除く際は、市販のスプレー式エアダスターなどを用いてふき飛ばすか、水もしくはエチルアルコールを含ませた布などで軽くふき取り、十分に乾燥させてください。
※必ず電源ケーブルを外した状態で作業してください。

1. 各部の名称

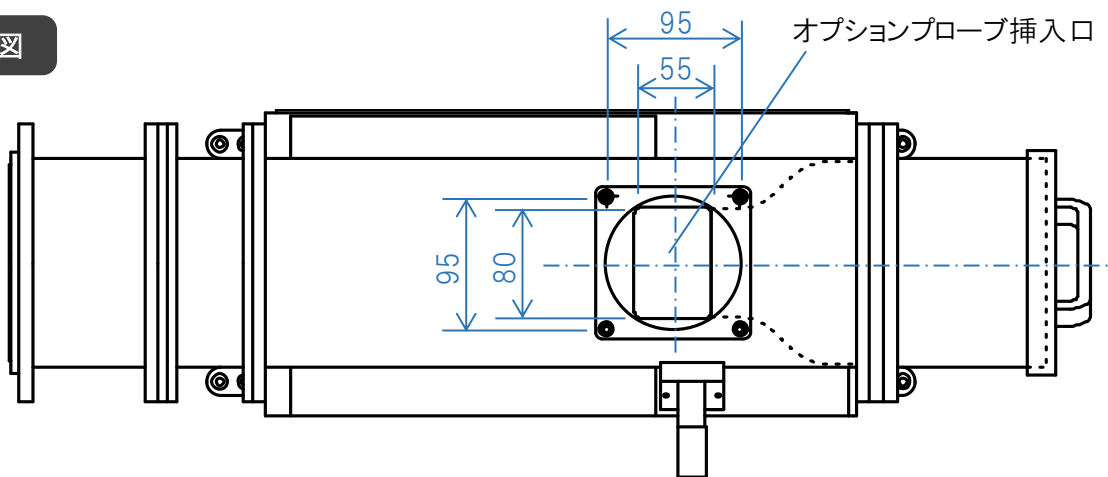
正面図



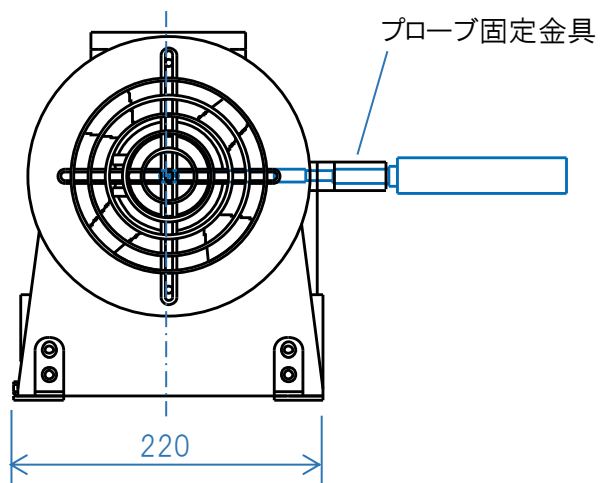
背面図



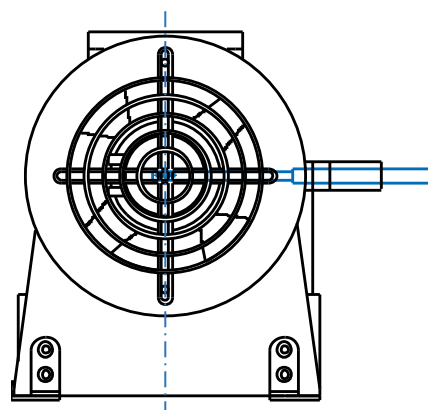
上面図



側面図 (AF101 固定時)



側面図 (φ6mm プローブ固定時)



単位:mm

2. ご使用前の準備

2-1. 電源ケーブルの取り付け

- 電源スイッチが OFF (0 側) になっていることを確認し、電源コネクタに電源ケーブルを取り付けます。
※ 必ず家庭用電源 (AC100 V) をご利用ください。

2-2. 保管用カバーの取り外し

- 保管用カバーを取り外します。
- 長期間装置を使用しない場合や運搬時は、必ず保管用カバーを取り付けてください。

2-3. 調整ボリュームの設定

- 調整ボリュームをゼロ位置にします (左側いっぱいに止まるまで回します)。

2-4. プロープ固定金具の取り付け

- 固定ベースへ検査をおこなうプロープに対応したプロープ固定金具を取り付けます。
- 2 本の固定ネジを取り外し、手前に引き抜くと着脱できます。
※ 着脱時は装置の亚克力面を傷つけないようにゆっくりと作業を行ってください。



注意

- 装置は必ず水平な場所に設置してください。
- 検査時の室内温度は 18~28 °C の範囲内に調整してください。
- 装置周囲は温度変動の少ない (±0.5 °C 程度) 状態にしてください。
- エアコンなどの送風が装置に影響しないように (風速 0.5 m/s 以下) してください。
- 装置の左右に少なくとも 1 m 以上のスペースを設けてください。



注意

- 動作時はある程度の騒音 (最大 85 dB 程度) が発生するため、周辺へのご配慮をお願いします。
- 使用開始前に 10 分間 (風速 5 m/s にて) の暖気運転を行ってください。
- 動作時は装置周囲に障害物や移動物体などが無いようにしてください。
- 風速値は、温度、湿度、気圧の影響を受けますので、必要に応じて補正する必要があります。
- 装置の動作時、吸入部付近に軽量の物体があると誤って吸い込む可能性があるため、十分に注意してください。また、けがのおそれがありますので、吐出部に顔を近づけないでください。

3. 装置の使い方

3-1. 電源を入れる

- 電源スイッチを ON (I 側) にするとスイッチが点灯し電源が入ります。
 - LED パネルに送風ファンの周波数が表示されます。
- ※ 電源 ON 直後は必ずマニュアルモードになります。

3-2. プロープを取り付ける

- プロープ固定金具に対応したプロープを挿入します。
- 検査中にプロープが動かないよう、最後に金具上側のネジでホールドします。

【AF101】 プロープを I 型の状態にし、伸縮ロッドの 1 段目を 50 mm 程度伸ばした状態で挿入します。
風向点を上流側（電池カバー側を正面から見て右側）にして固定します。
プロープを最後まで挿入すると風速センサーが風洞の中心に位置されます。

【φ6 用】 風向マークを上流側（正面から見て右側）にして固定します。
プロープを最後まで挿入すると風速センサーが風洞の中心に位置されます。

3-3. マニュアルモード

- 調整ボリュームを右に回すと風速 m/s(周波数 Hz)が上がり、左に回すと下がります。
 - 調整可能な風速範囲は約 0~20 m/s(周波数換算で約 0~7702 Hz)です。
 - 風速 2 m/s 以下に調整する場合は、低風速用ベルマウスを取り付けます。
- ※ 低風速用ベルマウスの着脱時は、風速をゼロ位置の状態（調整ボリュームを左側にいっぱいに止まるまで回し、周波数が 0 Hz であることを確認）で操作してください。

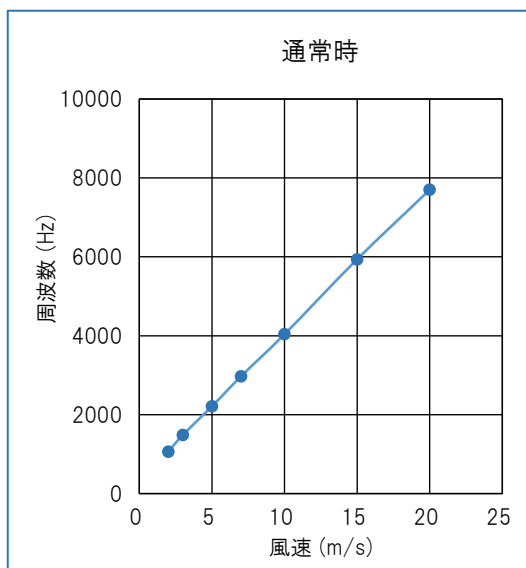
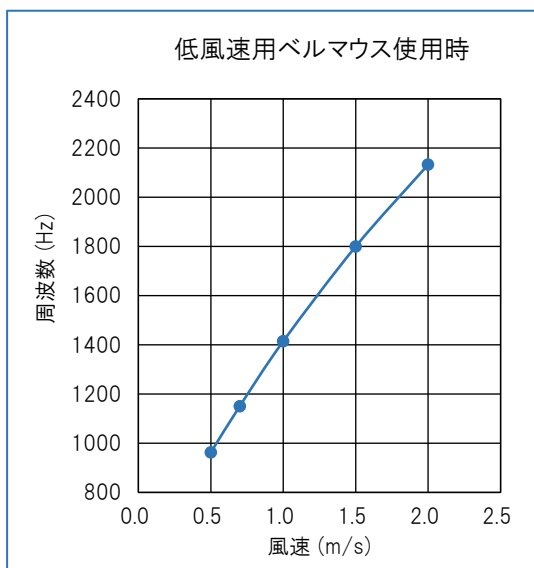
3-4. 風速固定モード

- 1、5、10、20 m/s いずれかの風速切替ボタンを押すとボタンが点灯し、風速固定モードになります。
 - もう一度、同じ風速切替ボタンを押すとボタンが消灯し、マニュアルモードに戻ります。
- ※ 1、2 m/s 設定時は低風速用ベルマウスを取り付けて使用します。
低風速用ベルマウスの着脱時は、風速をゼロ位置の状態（調整ボリュームを左側にいっぱいに止まるまで回し、周波数が 0 Hz であることを確認）で操作してください。
- それぞれの風速固定モード中はアップボタン、ダウンボタンで風速の調整をおこなうことができます。
 - 任意の風速値（周波数）になった状態で、風速切替ボタンを 2 秒間長押しすると、現在の風速値（周波数）が記憶されます。

4. 製品仕様

品名	簡易風速検査装置
型名	WT102
検査対象	熱式風速計プローブ（無線風速・温度プローブ AF101、φ6mm 熱式風速計プローブおよびφ75mm ベーンプローブ）
風洞方式	吸込式
風速設定範囲	0.1 ~ 20 m/s（※2 m/s 以下は低風速用ベルマウスを使用）
動作温度範囲	15 ~ 35 °C（検査時は 18 ~ 28 °C を推奨）
保管温度範囲	5 ~ 40 °C
風速安定性	±5 % F.S. (~2 m/s)、±3 % F.S. (2~20 m/s)
最大騒音	85 dB 未満
電源	AC100 V（家庭用電源）
消費電力（最大）	約 95 W
寸法	(W) 770 × (H) 260 × (D) 220 mm（突起部を除く）
重量	約 9.5 kg
機能	マニュアルモード、風速固定モード×4（1、5、10、20 m/s）
付属品	電源ケーブル、プローブ固定金具×2（AF101 用、φ6mm 用）、低風速用ベルマウス、保管用カバー、取扱説明書、保証書

【設定風速と周波数との関係性】



※ 参考値であり、設定値は検査をおこなう際の環境条件（温度、湿度、気圧など）によって異なります。

5. 保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときはご使用をやめ、電源ケーブルを取り外してください。
2. 弊社もしくはお買い上げの販売店にご連絡ください。

製品の保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。

保証書

保証期間中の修理に際しましては製品に同梱の保証書をご提示ください。

補修用性能部品の保有期間

製品の製造打切り(生産中止)後、10年保有していますが、場合によっては修理をお断りすることがございます。

問い合わせ先

アリアテクニカ株式会社

〒562-0035

大阪府箕面市船場東 2-1-20 ABCビル 2F

TEL : 072-735-7333

FAX : 072-735-7285

info@aria-tecnica.co.jp

弊社ホームページの問い合わせ窓口もご利用ください。

<https://www.aria-tecnica.co.jp/>



